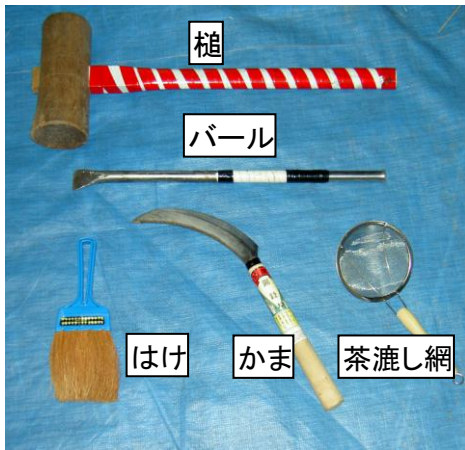


樽酒の鏡を開く方法

通常は何度も力まかせに鏡(上蓋)をたたいて開くのですが、スマートな方法を記載します。

用意する物



槌(大きめの物)
 バール
 茶漉し網
 かま又ははさみ
 はけ

酒 賀 茂 泉

賀茂泉酒造株式会社
 広島県東広島市西条上市町2-4
 電話 082(423)2118
 FAX 082(423)9217
 URL <http://www.kamoizumi.co.jp/>
 E-mail info@kamoizumi.co.jp

①大綱を4箇所カマで切ります。



ここを切ります

ここで内側に菰を
 折り込むまたは切
 り取ります。

②菰の上側を開きます。



③樽の上端にそって中に折込みますもしくは菰を切り取ります。

④鏡(樽の上蓋)にある藁(わら)をはけできれいに取り除きます。

⑤鏡(樽の上蓋)と樽の間の溝に鏡の継ぎ目に添って、片側4箇所をバールを槌で樽の中心に向かって打ち込み、
 てこの原理で下方方向に力を入れて浮かせます。反対側も同様に浮かせます。
 この時、一箇所をあまり強く浮かさないで、4箇所を少しずつ均等に力をかけてください。
 また、鏡の継ぎ目と継ぎ目の間には、留木が入っていますので、これもなるべく折らない様に気をつけてください。上記の要領で鏡を浮かせます。



ここにバールを打ち込みてこの原理で
 下方方向に力を入れます。

※鏡開きをする場合には少しお酒を
 抜き取ると叩いた時にお酒の飛び散
 りが少なく済みます。

- ⚠ カマで大綱を切る時は怪我をしない
 様、ご注意ください。
- ⚠ バールを槌で打つ時には手などを叩
 かない様、ご注意ください。

⑤鏡を完全に浮かせたら、中に入った「わら」の欠片を茶漉し網で取り除きます。

⑥鏡をもとに戻して完了です。これで、紅白で飾られた槌で軽くたたけば、簡単に鏡開きの儀式が出来ます。